



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099 (226) 5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円



# 盛大に献堂五十周年を記念

## 聖霊にささげられた谷山教会

レデンプトール会鹿兒島修道院のある谷山教会(福崎英雄主任司祭)では、六月八日(聖霊降臨の主日)に献堂五十周年記念式典が挙行され、県内の教会からはもとより、遠くは東京、長崎からも多くの司祭や信徒が駆けつけた。

一面に田畑が広がっていた地区に谷山教会が誕生したのは一九六四年五月三十一日のこと。それまでラ・サール会と善き牧者会の修道院でミサにあずかっていた谷山地区の信者たちにとって、この献堂は大きな喜びとなった。



祝賀会で挨拶する雨水新二さん

祝賀会の終わりに、主任の福崎神父が挨拶し、教会の信徒に対しては、もちろんのこと、

による記念ミサで始められた。ミサ中の説教で、郡山司教は、「谷山教会は、聖霊にささげられた教会。その聖霊の働きには、三つある。①聖霊は、絶えず指示を出す。②背中をポンと押す。③回心を促す。だから聖霊の声を耳を澄まして聴く練習をしない。聖霊は、いつも心を開いて用意をしている」とメッセージを送り、最後に「これからの毎日が新しい教会を作っていくための日々となるように」と締めくくった。

沖縄で学習 三教区司祭合同黙想会 毎年恒例の三教区合同黙想会が六月二日(月)から六日(金)まで、那覇教区の安里教会で開かれ、三人の司教と四十三人の司祭が共に研鑽し親睦の時を持った。この三教区(大分・那覇・鹿兒島)が持ち回りで開いている黙想会、特に今年には、長崎教区からも三人の司祭が加わるという盛況ぶり、一層充実感が溢れ



伝統の聖母行列 聖母月に鹿純心学園 学園伝統の聖母行列が五月三十一日(土)鹿兒島純心女子学園唐湊キャンパスであった。今年の行列は十字架と吉野教会の鈴木神父が先導する聖母マリア像と共に学園内を行進し、聖歌とロザリオの祈りを一同でささげ、生徒たちが作った花かごや花じゅうたんがそれを迎えるというもの。行列終点の体育館では百合の花と奉仕活動を聖母マリアへ奉獻。そこには鴨池とザビエルの教会学校の子供たちも顔を見せた。



信仰の心 五月十三日(火)ザビエル教会でイエズス会霊性センター「せせらぎ」所長・アムロス神父の「祈りを深めるホリスティック黙想会」が開かれ、三十人を超える参加者があった。

## 鹿兒島教区の信者の皆様へ

レデンプトール修道会鹿兒島準管区 管区長 盛 克志

私たち「レデンプトール修道会鹿兒島準管区(法人名『カトリック贖罪主修道会』)」は、来年(2015年)1月5日付をもちまして、レデンプトール東京準管区と合併し、「レデンプトール修道会日本準管区」として再スタートを切ることになりました。もちろん、今まで通り鹿兒島教区での司牧の協力関係が変わることはありません。

思い起こしますと、ドイツ・ミュンヘン管区からドイツ人会員たちが鹿兒島に派遣され司牧を始めましてから、長い年月が流れました。そして多くの実りを頂きました。そこで、今まで言葉では言い尽くせないご協力を頂きました鹿兒島教区の信者の皆様や谷山教会をはじめ各地のカトリック教会の皆様方に感謝を込めて、8月1日のレデンプトール会の創立者・聖アルフォンソの記念日に、谷山カトリック教会で「感謝のミサと感謝の集い」を下記の要領で実施いたします。

皆様のご参加をお願いし、ご案内申し上げます。

記

日時：2014年8月1日(金) 午前11時 「感謝のミサ」

会場：谷山教会聖堂及びホール

※ミサ後、感謝の集い

## 第2回子ども大会のご案内

一聖書学校一

日時：8月3日(日)～5日(火) 場所：カリタス幼稚園 対象：小学生(未洗者も可) 申込締切：7月19日(土) 問合せ：鴨池教会 泉神父まで Tel. 099 (257) 8097

た洗礼者ヨハネの父・ザカリヤについては「口がきけなくなったのは不信仰に対する罰ではない。回心し神のみ心を信じるための目に見えるしるし」と語った。そして「理屈に合うことだけがこの世には起こるのではない。人生には必ず、痛み、十字架があり、それは避けられない。しかし、苦しみがあっても、それを受け入れるなら、それを乗り越えることができる。そう信じていること、それが、信仰」とメッセージを送った。(報告・国分教会 森千江子)

### 司教執務室便り

## み心に対する信心

ユーキヤット。猫(キヤット)のことではありません。YOCATと書きまします。結論から言うと、一九九二年に発表されたカトリック教会のカテキズムの若者版「ユースカテキズム」のことです。

そのユーキヤットの翻訳が、昨年ついに若者たちの手によって完成しました。「若者による若者のための若者の宣教第一弾」とも言うべき日本教会の画期的な出来事です。

鹿児島教区でも、少し出遅れましたが、今年からカトリック学校の若者たちを中心に月一回の勉強会が始まりました。夕方六時半から八時頃までの短い時間ですが、今月五日(土)で三回目となります。参加者は中学生から大学生までの十人ほどで、七月からは増える見込みです。ほとんどは信者ではありませんが、学校の枠を超えた夏休みのキャンプでの出会いが元になっているようです。

この勉強会のもう一つの特徴は、各学校の信者の先生の熱心な勧めがあるとい

うことではないかと思えます。まだ二回の体験しかないのですが、キャンプやかねての活動を通して信頼関係が出来上がっているようです。先生たちが一緒に参加しても違和感がないどころか、むしろ和気あいあいとして家族的。教える一教えられるという緊張感を感じさせないところが学園宣教成功の秘訣ではないかと思いました。



また、理屈をこねそうな年頃の男の子たちもいるのですが、質問や疑問が寄せられることが少ないことに、正直、少しホッとしました。それは、「この人たちは真理を聞く用意がすでにできているらしい」という気づきでもありました。それは、各学園でかねての活動の成果にほかならないわけで、司教叙階以来思い続けてきた学園宣教の実りを見るようで、まだ二回だけですが、心楽しいひと時でした。

「今の若者は、人々が考えるほど軽薄ではありません」というベネディクト十六世の言葉にも頷きました。若者たちとの真理への旅は始まったばかり。お祈りください。

## 各地でかわいらしい聖母祭

### カリタス幼稚園、国分幼稚園

さわやかな五月、園庭の聖母像は心地よい風を受けながら微笑みをたたえ、登園してくる子どもたちを優しく手を広げ、待っていて

下さる。四月入園した子どもたちも少しずつ慣れ、明るい笑顔で小さな手を合わせ「マリアさま、おはようございます。今日も一日お守り下さい。行つてまいります。」とお祈りをして登園してくるようになって、ちよつと一安心していたが…



カリタス幼稚園の聖母祭

ある朝「ママがいい、ママがいい」と駄々をこねている。「そうだね、ママがいいよね。先生もママがいい。でもね、えいちゃん幼稚園に来たらほら、マリアさまがママだよ。」違う本物のママがいい。「本物のママだよ。天のお母さん、

### カトリック幼稚園便り③

## 「しらゆり」農園で苗植え

### 聖マリア学園 白百合幼稚園

五月十四日の天気予報は曇りのち雨。「どうか、お天気もちますように…」と、当日を迎えました。そして「さあ、いくぞ!」という時に、雨がポツリポツリ。一時避難する子どもたち。「雨があがるといいね」「この雨で、お野菜おおいくなるといいね」と話し合

五月十九日は曇り。苗植え延期のこの日、またもや小雨模様。「神さまは、今日もいい天気をくれられないかな」子どもの会話が聞こえてきます。すると、太陽が見えてきました。「や

ちゃんも明るい笑顔で参加してくれた。えいちゃん「本物のママがいい」と言った。だから「私たち保育者は本物のマリアさまに会える手助けをしているのかな」とちよつと痛む心をさげした聖母祭となった。(報告・小瀬良和代)

### 国分幼稚園

「マリアさまのこころそれはあおぞら」五月九日金曜日、さつき晴の空の下、子どもたちのかわいい声が響く園庭で多くの保護者を迎えて、聖母祭が始まりました。年長さんがひくマリアさまを乗せたお神輿を先頭に、花冠を被った子どもたちの行列が続きます。マリ

つたあ!」。身支度を整え、スコップを手に、しらゆり農園へ出発。植えた苗は、なす、ピーマン、ミニトマト、キュウリの四種類。クラスで植える苗を決めて、丁寧に植えていきました。土の感触を楽しみながら、顔にも苗植え?顔じゅう土だらけの子どももいます。最後に、ペットボトルに水を入れ、「大きくなあれ」「おいしくなあれ」と、祈りを込めて水撒き。苗植え完了です。

今年は、町内の「あずま会」の人生の大先輩のお力をお借りして、土耕しと肥料やり、また保護者からの援助をいただいで苗を準備し、皆が結束して実現した



参加者たちは聖母マリアの汚れなきみ心に奉獻し、教会と教皇への忠実を誓った上で、ロザリオを唱え、聖体礼拝とゆるしの秘跡、ミサにあずかっている。教区での担当司祭は加世田教会のサントス神父。参加希望者はザビエル教会の久留さん(TEL〇九〇一四五八二一八二四)まで。

### 参加を待っています

### 司祭のマリア運動



一九七二年にステファノ・ゴツビ神父によって始められた「司祭のマリア運動」が鹿児島でも月に一度(第一土曜日十時から十五時まで)ザビエル教会小聖堂で開かれている。

夏野菜の苗植えでした。神に感謝していただきます。(報告・苗植え担当 山内舞)

## 第23回夏期集中講座

テーマ…カトリックの信仰「復活と教会」  
日時…8月18日(月)〜22日(金)  
午前部 10時〜12時  
午後部 19時〜21時

場 所…ザビエル教会一階ホール  
受 講 料…五百円(受講回数に関係なく)  
講 師…竹山 昭神父

※テキストには「カトリックの信仰」(あかし書房)と新約聖書を使用します。  
申 込 先…教区本部「夏期集中講座係」  
FAX 099(225)0440

※申込はできれば小教区ごとに(個人での申込は、氏名、所属教会、電話番号を明記のこと)。

## +KABAYAN SEKSIYON+ Misteryo Paskuwal: Puso ng Pananampalatayang Kristiyano

Ang "misteryo paskuwal" ay tumutukoy sa kabuuan ng lahat ng mga pangyayari sa pagpapakasakit ni Kristo, pagkamatay, muling pagkabuhay, pag-akyat sa langit, at pagpapadala ng Espiritu Santo. Pumapaloob sa "misteryo paskuwal" ang lahat ng mapagmahal na plano ng Diyos para sa pagliligtas sa tao. Nag-uugat ang talatang "misteryo paskuwal" sa salitang Griyego na *pascha* at salitang Hebreo na *pesah*, na ang kahuluga'y "paskuwa" at mula sa *Griyegong musterion*, na ang kahuluga'y "tagong katunayan" o "rito".

Malinaw na inilalarawan ng talatang ito ang Paskuwa ng mga Hebreo, na naging paraan ni Yahweh para iligtas ang Israel mula sa pagkaalipin sa Egipto. Ibinabadya sa pangyayaring ito ang gagawing pagliligtas ni Kristo. Sa "misteryo paskuwal" tumawid si Kristo patungo sa Ama, tinitipon ang buong sangkatauhan kasama niya.

Nang tanggapin natin ang binyag, pumasok tayo sa hiwaga ng pagliligtas ni Kristo na namatay at muling nabuhay (Rm 6:3-5). Sa bawat Eukaristiya, ginugunita natin, ipinagdiriwang at nakikibahagi tayo sa Misteryo Paskuwal ni Kristo (1 Cor 11:23-26). Sa tuwing ipinapahayag natin ang "misteryo ng pananampalataya" sa Misa pagkatapos ng konsekrasyon, ipinapahayag natin ang malalim nating pananampalatay sa Misteryo Paskuwal ni Kristo.

Katesismo sa "Taon ng Pananampalataya (Fr. Dino Orolfo)

# 工夫を凝らして北薩カトリック大会

## ゲームで親睦を図り聖体行列は教会外へ

五月二十五日(日)恒例の北薩カトリック大会が出水教会(石田望神父)で開催された。

「北薩地区に生きるキリスト者が一つに集まり、信仰の喜びを親睦や交流、祈りを通して分かち合い、福音



教会の周辺地区での聖体行列

宣教へと強められるための集い」と位置づけられている大会の今年のテーマは「家庭教会(祈りと食卓)」で、北薩地区の五つの小教区から百二十人もの兄弟姉妹が集い、信仰の喜びを分かち合った。

大会の準備には各教会から選出された北薩大会実行委員会のメンバーが、昨年の反省点を念頭に新年早々から話し合いを重ねアイデアを出し合った。その結果、今までは違う試みとして大きく四つのプログラムを立てての開催となった。

①レクレーション交流(グラウンドゴルフ) 参加者が十五グループに分かれ、新しい出会いと交わり体験しながら、一つのボールでゴールを目指すという

②分かち合い 司教の年頭書簡の説明と講話を受け、家族が一つに交わる場「食卓」から祈りの重要性を再確認し、家庭の信仰の喜びについて分かち合いがされた。課題であった分かち合いについては「傾聴」「共感」「信頼」などの基本的な心構えを学んだ後臨んだ。また付箋に家庭で祈りと信仰を伝えるための決意を書き皆でボードに貼ってミサで奉納した。

③聖体行列 信者をもつにする「聖体」を掲げた司教を先頭に、司祭団、信徒の行列が教会周辺地域をロザリオの祈りと共に行列した。

④感謝ミサ・堅信式 郡山司教司式による感謝ミサがささげられ、その中で堅信式があり、四人がその恵みに浴した。教会外行動や例年ない盛りだくさんのプログラムに振り回されはしないかとの心配もあったが、神の大きな恵みと祝福のもと、好天にも恵まれ、共に喜びを分かち合うことができたことを感謝し大会を終えた。(報告・石田望神父)

### 総会と研修会

#### 教区修道女連盟

六月一日(日)教区本部で教区修道女連盟の総会と研修会が行われ、四十七人の



の恵みに浴した。教会外行動や例年ない盛りだくさんのプログラムに振り回されはしないかとの心配もあったが、神の大きな恵みと祝福のもと、好天にも恵まれ、共に喜びを分かち合うことができたことを感謝し大会を終えた。(報告・石田望神父)

の修道女が参加した。研修会の講師はレデンプトル会の盛克志神父で、「現代に生きる信仰」をテーマに身近な例を取り上げた講話となった。

講話は「最近、嬉しく感じたことは？」という質問に始まり、自分の身体、知性、理性、霊的な面など自分の状態をよく知った上で、それらを外において他の人と出会うこと。自分の弱さを認め、神に信頼すること。神の助けがあれば、人のために命を捨てることのできる。自分は何に執着しているか。聖書をどのようになっているか。何歳になっても、自分はイエスと近い存在だろうか? など出席者たちが考えさせられるものだった。

今年度の役員は次の通り。(敬称略)

会長 奥蘭恵美子(カノッサ会)、副会長 谷口洋子(純心川内修道院)、書記 日数谷知津子(純心川内天辰修道院)、会計 浅田光子(純心出水修道院)(報告・奥蘭恵美子修道女)

### 鈴木神父のやさしい言葉

#### 福音書を考える

福音書と聞くと通常、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネという四つを思い浮かべることでしよう。しかし、これらは正典の福音書であり、外典と呼ばれる福音書も存在します。外典とはグノーシス主義をはじめとする異端的なグループにより正典文書が模倣・変形されたものを指します。有名なものとしてはユダによる福音が挙げられます(二世紀頃)。グノーシス主義とは一、四世紀の古代教会の内外に発生した異端の総称で

す。その内実はキリスト教的グノーシス、グノーシスのキリスト教といったように複雑多岐にわたりますが、概して定義できませんが、基本的にはこの世のすべてを二元論的に捉え、超個人的・超宇宙的な神の本質への回帰・合一によって個人は救済されるという考えを根底にもつもの。この考えは、神の国の到来によりすべてのものが救われる、というイエス様の福音とはまったくかけ離れたものである。

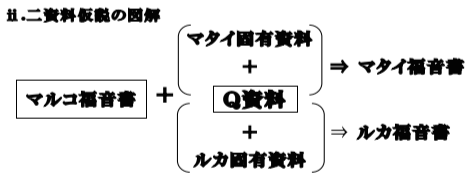
ところで、正典福音書はマルコが最も早く成立し(七〇年頃)、その後、マタイとルカがマルコに基づき、それぞれの固有資料とQ資料と呼ばれるものを参考にして書いたと現在では考えられています。このためマルコ、マタイ、ルカの三つは共観福音書と呼ばれています。Q資料とはイエス様の言葉だけをその話された具体的状況から切り離して格言風の独白として列挙した、いわばイエス語録であると考えられています。それは現存するものではなく仮説の資料です。共観福音書間のすべての節を比較検討すると、

1. マルコと同じ内容の節がマタイとルカには多くある。  
2. マタイとルカに於いてマルコと共通していない部分を比較すると両者に共通する節が多くある。このことから、マタイとルカが何らかの資料、即ち、Q資料に依拠していると考えられる。  
3. マタイとルカのそれ以外の部分は、それぞれ固有の資料(ないし伝承)に依拠していると考えられる。

という結果からマルコが最古の福音書であると考えられるのです。今回は福音書の成立過程

1. 聖書の成立時期(推定)

福音書の成立時期				異なる視点
共観福音書				
マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ	
70年後	70年前後	1世紀末	1世紀末	



### 会と催し (7月)

- 3日(木) 聖トマ使徒 Younger勉強会・教区本部・15時
- 5日(土) 年間第十四主日
- 6日(日) 教区典礼委員会・教区本部・19時
- 8日(火) 教区高年齢者施設研修会・教区本部及び聖園老人ホーム・13時(10日まで)
- 9日(水) 坂谷豊光神父命日(二〇〇六年)
- 11日(金) 年間第十五主日
- 13日(日) プイジュ祭・瀬留教会
- 14日(月) 村田源次神父命日(二〇〇七年)
- 15日(火) 教区巡礼委員会・教区本部・19時
- 19日(土) スピリチュアル研修会・教区本部・9時(20日まで)
- 20日(日) 宣教学校・ザビエル教会・13時
- 21日(月) 年間第十六主日
- 22日(火) ユゼビウス神父命日(一九七九年)
- 23日(水) 木村敏彦神父命日(二〇〇八年)
- 24日(木) テイエン神父叙階記念(二〇〇六年)
- 25日(金) カトリック幼稚園教師研修会・霧島国際ホテル・25日まで
- 25日(金) 聖ヤコブ使徒 福崎英雄神父霊名
- 27日(日) 年間第十七主日
- 30日(水) オリーブの会・教区本部・14時
- 31日(木) 久保芳一神父霊名(聖ルフィーン) ハヌス神父叙階記念(一九五五年)

#### 【フベナ】

祈りの意向 カトリック幼稚園教師研修会(24日・25日)を前に、鹿兒島教区における幼児教育の場が神の愛を伝えるのにふさわしい場となりますように。

【祈禱の使徒会】世界共通・スポーツ 日本教会・信徒宣教師・隣人愛

#### 第2回「福音と社会」分かち合い

テーマ：聖書と原発 一高木仁三郎「聖書は核を予見したか」の検討一  
日時：7月12日(土) 14時~16時  
場所：ザビエル教会 ※旧・新約聖書をご持参下さい。  
問合せ：山下和実(紫原教会) TEL 080 (1704) 8315

#### 黙想会 共にイエスを囲んで

日時：8月2日10時~3日16時  
指導：W・キップス神父  
参加費：10,000円(宿泊・食事代込)  
場所：マリア山荘  
申込：福沢 TEL 090 (2083) 9223  
E-mail fuku-h@ml.satsuma.ne.jp

「今すぐ原発の廃止を」これは二〇一一年十一月に出されたカトリック司教団のメッセージの結論である。東日本大震災において起こった福島第一原発の事故によって、多くの住民の生活が破壊され、宅地・畑・山・海が放射能に汚染され、今も復興の目処が立っていない。こうした現実を前にして、聖書の思想とカトリック教会の教えに基づいて、日本にあるすべての原発を今すぐに廃止することを緊急に呼びかけたのである。司教団の英知と決断に敬意を表したい。また、最近岡田武夫

## 原発問題を考えよう

紫原教会 山下和実

司教(日本カトリック協議会会長)は、フランススコ教皇の来日を要望し、「教皇の東日本大震災の被災地訪問と原発廃止運動への祝福を期待する」というコメントを出している(二〇一四年六月六日)。人間の尊厳よりも経済的利益を優先に考える風潮がある中で、日本の社会で少数派であるカトリック教会が「預言者」的役割を果たそうとしている福音的な発言であると思う。

こうして司教団の方のメッセージを私たちがどのように受け止めるべきであろうか。特に鹿児島は、川内原発の再稼働が大きな問題となっており、今後の原発の動きを左右することから注目されている。原発問題は、国のエネルギー政策(政治問題)、雇用推進・地域活性化(経済問題)でもあるが、それ以上に人間のいのち(未来の世代にもつながら)・毎日生きるための糧

の確保・人と人とのつながり・人間と自然の共生などの問題である。原発事故によって、いのちの尊厳・人権が破壊されていることを考えると、原発は「神の似姿」として創造された人間を否定することであり、信仰の根本にかかわってくる。イエスの考えと行動に共鳴し、同じように生きたいと思ひ洗礼を受けたキリスト者として、原発問題に関心を持ち、決断して、責任を果たすべきではないだろうか。原子力規制委員会が安全性を審査して認め、国や県が再稼働を許可したから、それに従おうという「あきらめ」の立場か、聖書の思想や教会の教えに基づいて、弱く・小さくされた人々と連帯して「希望」を持って生きる立場か、その分岐点に立たされていると思う。

この法人の大きな目的は、高齢の信者たちの「最後まで、信仰を保って、お互いにキリストの兄弟姉妹として、信仰を喜び分かち合つて生きていける場(終の住家)が欲しい」という声から始まりました。ここは信徒の有志の方々が準備会を発足させて立ち上げた「非活動営利法人」です。あれから約十年の歳月が過ぎ、立ち上げ当時若かった委員たちも高齢期に入り、お世話される立場になりつつあります。この事業の大きな目的を継続させるためには、同じ思いで高齢者と共に歩んで行こうとする同じ思いを持った若い

「若い力が必要ですよ!」  
—ご理解とご協力をお願い—  
NPO法人 聖の郷ゆらいあい  
後継者の育成が急務となつています。「ゆらいあい」高齢者の集いは原則として一カ月に二回、第二と第四の土曜日に行っています。内容は十一時からミサ、ミサ後に昼食、午後からは神父様たちからの霊的講話、ロザリオの祈り、レクレーションとして賛美歌や昔懐かしい歌の数々を楽しんで、折り紙や体操で脳の活性化を図ったり、体を動かして心身のリフレッシュをします。「ゆらいあい」の開催にも、たくさんさんのボランティアさんの助けを必要としています。送迎して下さる方、お食事を作る方、そのほかの準備をして下さる方の協力、参加される高齢者の方々が信仰の分かち合い、懐かしい友人との出会いが実現できます。有料老人ホームの利用者も現在少ないですから、一人での生活に不安を感じておられる方はご相談ください

- 【文芸】
- 短歌  
大笠利教会 稲 牛憲  
病む嫁に祈って居るよと電話する洗礼勧めることにはふれず  
音たつるごとかつきりと聞く百合強きかをりて聖堂に放つ  
庭辺の紫陽花の花咲く頃に兄上逝きて神に召されぬ  
鹿児島純心 川上 和  
ぼっかりと白雲描く夕日輝く白衣に弟子らひれ伏す  
国分教会 市来 房枝  
年老いしその姉伴ひわが友は祖父のルーツ
- 俳句  
純心学園 山頭 信子  
山法師この一枝が聖母祭  
母の日や百歳祝う小さき顔  
週毎に司祭借りて柿若葉  
鹿児島市 徳永ノブ子  
記念ミサあずかる初夏の豊なり  
奄美市 林 常広  
ノラ猫が民家に近しエサを待つ  
鹿児島純心 川上 和  
乙女らの五月のきさき花じゅうたん  
紅に染む賛美の花びら天に舞い

「米軍普天間飛行場」を一望できる嘉数高台公園(沖縄戦の激戦地跡に整備された公園)に三年ぶりに立つてみました。双発のへりとは比較にならないオスプレイのけたたましい爆音に半時もしないうちに、私は苛立ちを覚えました。「米軍基地」のあるこの地に住む人たちの日々の暮らしを思い、言葉もなくしました。ゲート前で、毎日「オスプレイ反対」の声を上げている人々の姿を目の当たりにして、沖縄を抱える深刻な米軍基地問題に対する本土に住む私たちの関心の低さを恥じ入りました。タクシートの運転手さんが、「この嘉数高台公園には内地から大臣や国会議員がよく来るさ。でも、彼らは見て帰るだけさ」と、ぼそっと話しました。昨年十二月、奄美大島が本土に復帰して

六十年になりました。確かに、沖縄も一九七二年五月十五日に施政権が返還され、本土復帰しました。ところが、いまだに、沖縄と日本とを隔っている緯度(北緯二十七度線)が厳然としてあることを私たちは認識しなければならぬ、と思います。なぜなら、そこに米軍基地問題が、日米同盟が抱える多くの矛盾と共に横たわっているからです。

現代社会を生きる私たちは様々な問題と向き合い、生きてゆかねばなりません。ひとつの問題でよいのです。福音的に生きられない何らかの問題に対して声を上げ、具体的に動いてみることで、もちろん、すぐに問題解決の実を結ぶことはないでしょう。それでも、たとえ小さくても、あなたは何かを変えることができます。(玉里教会主任司祭・小隈憲士)

### 頑張っています! 神学生

田代竜也さん(長崎コレジオ)

どうも、お久しぶりです。故郷の奄美を離れ、長崎に来て早くも十年目になりました。七人いた同級生も今は三人と少なくなりましたが、こうして今でも召命の道を歩んでいるのは、たくさんの方の支えのおかげだとしみじみ感じています。長い間見守ってくれている皆様には本当に感謝しています。

長崎コレジオは今年度で閉校となるので、最近は何校に向けて廃棄処分や大掃除を何度も繰り返しています。九八年から続くコレジオの歴史は福岡コレジオに引き継がれ、長崎コレジオは僕たちの卒業を最後に、その役を終えることになりました。不本意ながら長崎コレジオ最後の学年になってしまったので、先輩方が築き上げてきた歴史と伝統に終止符を打つ大事な役割を任ざれてしまいました。最後の年、有終の美を飾れるように一層の精進をしていきたいと思ひます。

大神学校入学が近づいてきました。たくさん迷惑をかけていて、期待にこたえられないほどでした人間ではありませんが、これからもよろしくお願ひします。



長崎コレジオの聖堂



田代竜也さん(長崎コレジオ)